

令和6年度 学校評価

長野県須坂東高等学校

学校教育目標

1. 真理と学問を愛し、豊かな知性に基づいて正義と道徳を重んずる精神を育成する。
2. 清純高潔な品性と豊かな趣味を育成する。
3. 自分を理解し愛するとともに、自然及び他人に対する深い理解と愛情を養う。
4. 勤労の価値を自覚し、積極的に活動する人間育成に努める。
5. 健康な身体と明朗で寛容な態度を養い、何事にも全力を尽くせる人間形成に努める。

中・長期的目標

1. 基礎学力の定着を重視し、多様な進路希望の実現を目指す。
2. 基本的生活習慣を確立し、社会の一員としての自覚をもたせる。
3. 特別活動を通して、心身の調和を目指す。
4. 保護者・地域に開かれた学校作りを進める。

本年度の重点目標

1. 生徒に学ぶ楽しさを体験させることにより、学習習慣の確立と進路実現に向けて努力する力を養成する。
2. 授業改善に取り組み、生徒が自らの目標に向かい、様々な人や事物と対話しながら探究する力を育成する。
3. 自他を敬愛する心と規範意識を育て、いじめや暴力のない安全で安心できる学校づくりを行う。
4. クラブ・生徒会活動の充実と切磋琢磨する校風の醸成を目指す。
5. 学習活動の中で保護者・同窓会・地域などと連携・協働し、開かれた学校づくりを行う。

評価項目	評価の観点
1－1 学習習慣の確立	a 各種検定や資格取得の意義を理解させ、目標を立てて受験させたり、また各教科の日々の課題を適切に課すことができたか。 b 補習や考前学習集中週間等に学習環境を整え、生徒の学習時間を増やすことができたか。
1－2 キャリア教育の充実	a 各学年の生徒の成長に合わせ、進路意識を高める取り組みを実施することができたか。 b 就業体験活動への参加を促すことができたか。
1－3 多様な進路希望への対応の充実	a 教育課程、学習指導、教材選択など様々な角度から多様な進路希望への対応を検討できたか。 b 多様な進路選択に対応するため、生徒の希望を的確に把握した個別指導をできたか。
2－1 授業の改善	a シラバスに沿った、計画的で充実した授業ができたか。 b 授業公開などを通じて、授業の方法を研究しあうとともに、授業評価をもとに自らの授業を省みて授業改善に努めたか。 c 授業中にICTを活用し、生徒の理解を深めるなどの授業を展開することができたか。
2－2 主体的・対話的で深い学びの実現	a 生徒の思考を広げ、深めるために、生徒が自ら考えたいような課題設定や問いかけを行うことができたか。
3－1 生徒の規範意識の向上	a ネット上のトラブルやいじめ等の防止のための啓発をするとともに、年3回のいじめアンケートを活用していじめがない学校にすることができたか。 b 諸問題を早期発見するために、年2回の学校生活アンケートを実施して面接週間に活用するなど日常的に生徒理解に努めることができたか。 c 交通安全や交通マナー向上の意識を啓発できたか。 d 携帯・スマホの預かりについて適切に指導できたか。 e 人権意識を高めるための啓発を行えたか。
3－2 身だしなみの改善	a 身だしなみ（髪型、ピアス、サンダル登校等）を中心に日常的に指導できたか。
3－3 清掃の徹底と環境・衛生面の向上	a 清掃の徹底を図り、美化に努めることができたか。 b 校内環境に気を配り、改善できたか。
4－1 クラブ活動の充実	a クラブへの加入を積極的に促すことができたか。 b クラブ活動の充実に努めることができたか。 c 部室、使用施設の適正な使用を促せたか。
4－2 生徒会活動の充実	a 日常の委員会活動を充実させることができたか。 b 対外的な活動、ボランティア活動等を通して、生徒会活動の充実をはかることができたか。
5－1 広報活動の充実	a 学校・学年・クラス等、それぞれの立場から地域や保護者・同窓会への情報発信ができたか。
5－2 地域等との協働	a 社会との接点を意識しながら、他と協働する活動に、生徒や学校が参画できたか。